

学習者用タブレット端末の更新について

資料イ

1 概要

国のGIGAスクール第2期におけるさらなる活用に向けて、公立学校情報機器整備事業費補助金により県に造成された基金（GIGAスクール構想加速化基金）を活用し、学習者用タブレット端末を整備するものである。

2 補助基準

- (1) 補助基準額 55,000円/台
- (2) 補助率 2/3
- (3) 予備機 児童生徒数の15%以内



3 更新台数

3,906台

令和7年度児童生徒数（見込み）：3,397台 + 予備機15%：509台

4 補助要件

- (1) 県が主催する共同調達会議への参加
- (2) 県内市町村との共同調達による端末の調達
- (3) 最低スペック基準を満たすこと（別表1のとおり）
- (4) 教員数分の指導者用端末の整備（対象教員262名 うち132台整備済み）
- (5) Webフィルタリング機能の整備（整備済み）
- (6) 端末の調達・利活用・環境整備に関する計画の策定、公表（令和6年度末まで）

5 ネットワーク環境の確認

インターネットや拠点間を接続する回線等のネットワーク構成要素を評価し、課題の把握や原因箇所の特特定を行うため、令和6年度にネットワークアセスメントを実施し、学校ごととしては国が推奨する基準を満たすことを確認した。今後、タブレット端末の更新による端末ごとのネットワーク環境の確認が必要である。

6 GIGA第1期からの主な変更点

(1) OSの変更

マイクロソフトWindowsからグーグルChromeOSへ変更
端末の起動が速く、クラウド上でデータ管理するなどの特徴がある。

(2) タッチペン

画面に書き込めるタッチペンを付属

7 今後のスケジュール

令和7年1月	プロポーザル審査（県）
令和7年2月	契約
令和7年9月末まで	納入完了

別表1

OS	ChromeOS
CPU	Intel Celeron Processor N4500と同等以上 ※Intel社製に限定するものではない。
ストレージ	32GB以上 ⁷
メモリ	4GB以上 ⁸
画面	10～14インチ、タッチパネル
無線	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax以上
周辺機器	ハードウェアキーボード及びタッチペン
カメラ機能	インカメラ及びアウトカメラ
音声接続端子	マイク・ヘッドフォン端子を1つ以上有していること
外部接続端子	USB3.0以上の規格であってUSB Type-C PD(Power Delivery)に対応したポートを1つ以上有していること
バッテリー稼働時間	8時間以上
重さ	1.5kg程度を超えないこと（本体及びハードウェアキーボード）
端末管理機能	以下の設定をネットワークを介して行うための端末管理機能（MDM）を有していること ⁹ ・端末にログイン可能なユーザに関する制御設定 ・端末が利用するソフトウェア、拡張機能等の配信設定 ・接続先ネットワークの制御 ・紛失・盗難時の制御設定
その他	1 端末を適切に運用するため以下の機能を有していること¹⁰ （1）端末の稼働状況を把握できる機能 （2）適切なセキュリティ対策としての以下の機能 ・マルウェアから端末を保護する機能 ・ストレージにデータを暗号化して保存する機能（必要に応じて利用可能であればよい） 2 OSメーカー（端末のOSと異なるものでもよい）が標準的に提供する教科横断的に活用できるソフトウェアを学習用ツールとして整備すること